

NST新聞

第24号 平成29年4月1日

平成28年度のNST勉強会の活動報告を行います。前年度に引き続き、褥瘡委員会との共同勉強会も行いました。各部署が持ち回りで担当しています。

5月: NSTの基礎について
年度初めで新入職員もいるため、まずはNSTの基礎をテーマに実施しました。

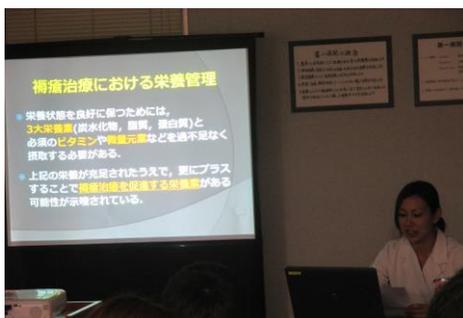
6月: 摂食嚥下障害について(担当: ST)
嚥下運動の過程から、薬の飲ませ方、ベッドサイドでできる摂食機能評価を実演を踏まえながら行いました。お菓子を薬に見立てて実際に飲んでみたり、頸部の角度を変えたりと、自分たちでやってみて気付くこともありました。



7月: 経腸栄養について(担当: 管理栄養士)
経腸栄養の栄養素については以前も何度か勉強会を行いました。今回は合併症や衛生面にも着目し、講義を行いました。



8月: 褥瘡学会発表予演会+ポジショニング実技
日本褥瘡学会(平成28年9月2日)にて口頭演題発表を行いました。「褥瘡治療におけるアルギニン強化食品の効果の検討」



みんなでベッドを囲みながらの講習会。なぜポジショニングが必要か、正しい方法と種類を実技練習しました。

9月: 褥瘡学会情報伝達会
学会参加者がそれぞれ最新の情報を持ち帰り、伝達する会としました。看護師、管理栄養士、理学療法士が参加したので、それぞれの視点で気になることを発表しました。

10月: 体位交換・スキンケアについて
(担当: PT、看護師)

8月の実技練習に引き続き、患者役と職員役に分かれ練習しました。ポジショニングだけでなく、移乗の方法も学びました。またスキンケアの基礎、おむつのあて方なども実践しました。あて方やサイズの設定もスキンケアに関係していると再認識しました。

11月: 輸液栄養について(担当: 薬剤師)

輸液に関しては苦手意識を持っている職員が多いので、当院採用輸液を用いながらの講義としました。計算やクイズも取り入れながら行いました。



平成29年度もNSTを通じて、栄養に関する知識の普及を行っていききたいと思います。栄養は誰もが必要で生命と直結します。その認識を持ち、安全な栄養補給ができるようチームとして活動していききたいと思います。

